

工業会活動

平成25年度 航空機生産・輸出・受注額(改訂)見通し

(一社)日本機械工業連合会が実施する「平成25年度機械工業生産額(改訂)見通し調査」に関する調査依頼を受け、当工業会は会員企業25社の協力を得て「航空機生産・輸出・受注額(改訂)見通し」の調査を実施した。

21年度に1兆円を下回った生産額は、今回の調査で増加傾向がより確実且つ顕著なものとなっていることが確認された。その要因としては、24年度及び25年度ともBoeing777や787等民間機向けの生産増等が挙げられる。両年度の生産額は、ピークとなった19年度生産額を上回るとともに、特に25年度は最近の円安傾向により1兆4,000億円を超える大幅な生産額増となる見通しとなった。

また、21年度に1兆円割れに落ち込んだ受注額は急速に回復し、平成23年度以降は1兆3,000億円台を維持していることが確認された。その要因としては、24年度が防衛航空機向け機体部品の増と民間機向け(Boeing777や787等)の増によるもの、25年度はF-35戦闘機の機体やエンジンの新規受注や最近の円安傾向などによるもので、今後の航空機生産の増加が期待される。

調査結果の概要について、以下に記す。

1. 生産額

(1) 全般

◇「24年度実績額」は1兆1,690億円で前年比1,468億円(14.4%)の増となった。

◇「25年度見通し額」は1兆4,541億円で前年比2,851億円(24.4%)増の見通し。

(2) 内訳

①機体関連

◇24年度は、「機体本体」が防衛省向けF-2戦闘機の機数減等により221億円減の1,450億円、「機体用部品」がBoeing向け777及び787用部品の増等により917億円増の4,936億円で、「機体合計」では、696億円増の6,386億円となった。

◇25年度は、「機体本体」が防衛省向けヘリコプターの増等により994億円増の2,444億円、「機体用部品」がBoeing向け777及び787用部品の増により1,348億円増の6,284億円で、「機体合計」では、2,342億円増の8,728億円の見通しである。

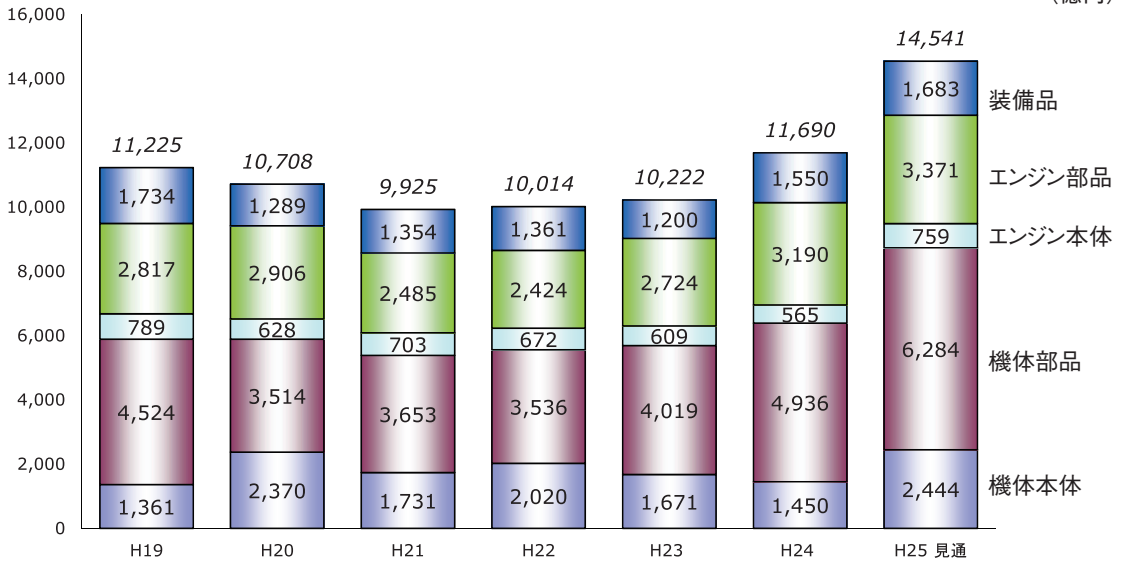
②エンジン関連

◇24年度は、「エンジン本体」が防衛省向けエンジンの減等により44億円減の565億円、「エンジン用部品」が海外及び防衛省向け部品の増により466億円増の3,190億円で、「エンジン合計」では、422億円増の3,754億円となった。

◇25年度は、「エンジン本体」が防衛省向けエンジンの増により194億円増の759億

生産額の長期推移

(億円)



生産額の長期推移

(単位：億円)

| 区分 \ 年度 | H19 | H20 | H21 | H22 | H23 | H24 | H25見通 |
|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 機体本体 | 1,361 | 2,370 | 1,731 | 2,020 | 1,671 | 1,450 | 2,444 |
| 機体部品 | 4,524 | 3,514 | 3,653 | 3,536 | 4,019 | 4,936 | 6,284 |
| (小計) | (5,885) | (5,883) | (5,384) | (5,556) | (5,690) | (6,386) | (8,728) |
| エンジン本体 | 789 | 628 | 703 | 672 | 609 | 565 | 759 |
| エンジン部品 | 2,817 | 2,906 | 2,485 | 2,424 | 2,724 | 3,190 | 3,371 |
| (小計) | (3,606) | (3,535) | (3,188) | (3,096) | (3,332) | (3,754) | (4,130) |
| 装備品 | 1,734 | 1,289 | 1,354 | 1,361 | 1,200 | 1,550 | 1,683 |
| 計 | 11,225 | 10,708 | 9,925 | 10,014 | 10,222 | 11,690 | 14,541 |

(注) 四捨五入の関係から、合計は必ずしも一致しない。

円、「エンジン用部品」が海外向け部品の増により181億円増の3,371億円で、「エンジン合計」では、376億円増の4,130億円の見通しである。

③ 装備品

◇24年度は、防衛省向けF-15近代化改修用電子機器等の増により、350億円増の1,550億円となった。

◇25年度は、民間機向け内装品や防衛省向

け各種装備品の増により、133億円増の1,683億円の見通しである。

2. 輸出額

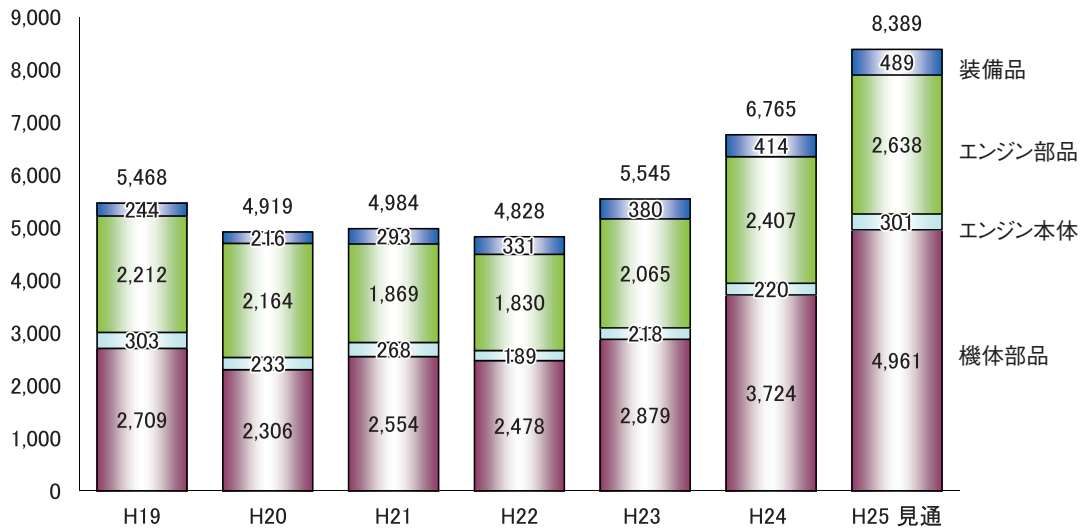
(1) 全般

◇「24年度実績額」は6,765億円で前年比1,220億円(22.0%)の増となった。

◇「25年度見通し額」は8,389億円で前年比1,624億円(24.0%)増の見通し。

輸出額の長期推移

(億円)



輸出額の長期推移

(単位：億円)

| 区分 | 年度 | H19 | H20 | H21 | H22 | H23 | H24 | H25見通 |
|--------|----|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 機体本体 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 0 | 0 |
| 機体部品 | | 2,709 | 2,306 | 2,554 | 2,478 | 2,879 | 3,724 | 4,961 |
| (小計) | | (2,709) | (2,306) | (2,554) | (2,478) | (2,882) | (3,724) | (4,961) |
| エンジン本体 | | 303 | 233 | 268 | 189 | 218 | 220 | 301 |
| エンジン部品 | | 2,212 | 2,164 | 1,869 | 1,830 | 2,065 | 2,407 | 2,638 |
| (小計) | | (2,515) | (2,397) | (2,137) | (2,019) | (2,283) | (2,628) | (2,939) |
| 装備品 | | 244 | 216 | 293 | 331 | 380 | 414 | 489 |
| 計 | | 5,468 | 4,919 | 4,984 | 4,828 | 5,545 | 6,765 | 8,389 |

(注) 四捨五入の関係から、合計は必ずしも一致しない。

(2) 内訳

①機体関連 (機体用部品のみ)

◇24年度は、Boeing向け777及び787用部品の増により845億円増の3,724億円となった。

◇25年度は、Boeing向け777及び787用部品の増により1,237億円増の4,961億円の見通しである。

②エンジン関連

◇24年度は、「エンジン本体」が23年度とほぼ同じレベルの220億円、「エンジン用

部品」が海外向け部品の増により342億円増の2,407億円で、「エンジン合計」では、345億円増の2,628億円となった。

◇25年度は、「エンジン本体」が海外向け修理の増等により81億円増の301億円、「エンジン用部品」が海外向け部品の増により231億円増の2,638億円で、「エンジン合計」では、311億円増の2,939億円の見通しである。

③装備品

◇24年度は、民間機向け内装品の増等によ

り34億円増の414億円となった。

◇25年度は、民間機向け内装品の増により75億円増の489億円の見通しである。

3. 受注額

(1) 全般

◇「24年度実績額」は1兆3,014億円で前年比357億円（2.7%）の減となった。

◇「25年度見通し額」は1兆3,980億円で前年比966億円（7.4%）増の見通し。

(2) 内訳

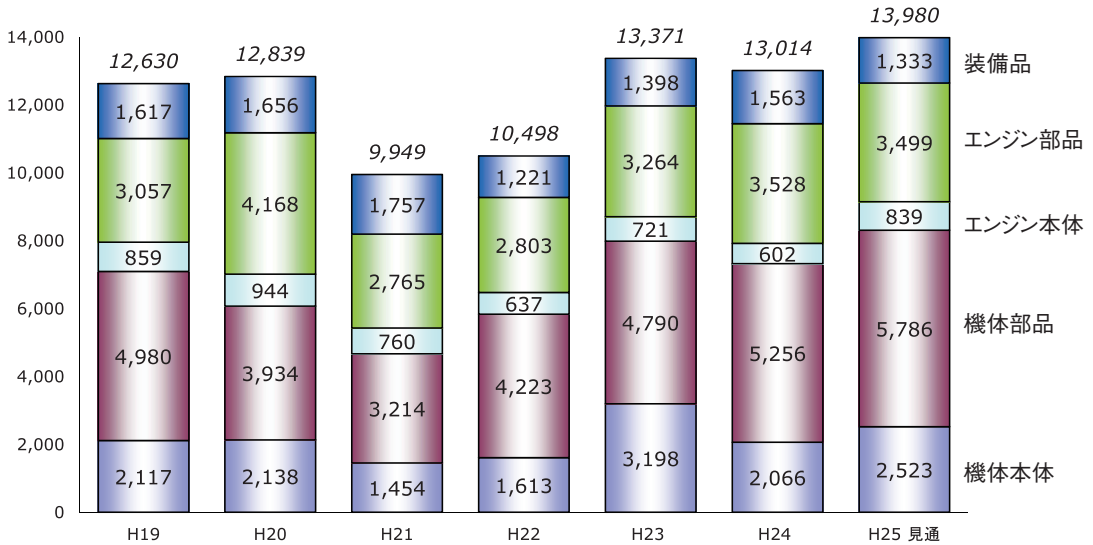
①機体関連

◇24年度は、「機体本体」が防衛省向けC-2輸送機の機数減等により1,132億円の大減で2,066億円、「機体用部品」が防衛省向け部品の増等により466億円増の5,256億円で、「機体合計」では、667億円減の7,321億円となった。

◇25年度は、「機体本体」が防衛省向けF-35戦闘機の新規受注等により457億円増の2,523億円、「機体用部品」がBoeing

受注額の長期推移

(億円)



受注額の長期推移

(単位：億円)

| 年度 | H19 | H20 | H21 | H22 | H23 | H24 | H25見通 |
|--------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 機体本体 | 2,117 | 2,138 | 1,454 | 1,613 | 3,198 | 2,066 | 2,523 |
| 機体部品 | 4,980 | 3,934 | 3,214 | 4,223 | 4,790 | 5,256 | 5,786 |
| (小計) | (7,097) | (6,072) | (4,668) | (5,837) | (7,988) | (7,321) | (8,309) |
| エンジン本体 | 859 | 944 | 760 | 637 | 721 | 602 | 839 |
| エンジン部品 | 3,057 | 4,168 | 2,765 | 2,803 | 3,264 | 3,528 | 3,499 |
| (小計) | (3,917) | (5,112) | (3,525) | (3,440) | (3,985) | (4,130) | (4,338) |
| 装備品 | 1,617 | 1,656 | 1,757 | 1,221 | 1,398 | 1,563 | 1,333 |
| 計 | 12,630 | 12,839 | 9,949 | 10,498 | 13,371 | 13,014 | 13,980 |

(注) 四捨五入の関係から、合計は必ずしも一致しない。

向け777及び787用部品の増等により530億円増の5,786億円で、「機体合計」では、988億円増の8,309億円の見通しである。

②エンジン関連

◇24年度は、「エンジン本体」が防衛省向けエンジンの減により119億円減の602億円、「エンジン用部品」が海外向け部品の増により264億円増の3,528億円で、「エンジン合計」では、145億円増の4,130億円となった。

◇25年度は、「エンジン本体」が防衛省向けF35戦闘機用エンジンの新規受注等により237億円増の839億円、「エンジン用部品」は24年度とほぼ同じレベルの3,499億円で、「エンジン合計」では、208億円増の4,338億円の見通しである。

③装備品

◇24年度は、民間機向け内装品の増等により165億円増1,563億円となった。

◇25年度は、F-15近代化改修用レーダー等を中心に230億円減の1,333億円の見通しである。

<調査対象企業：25社>

IHI、KYB工業、川崎重工業、小糸製作所、島津製作所、ジャムコ、昭和飛行機工業、シンフォニアテクノロジー、新明和工業、住友精密工業、東京計器、東京航空計器、東芝、ナブテスコ、日本航空電子工業、日本電気、日本飛行機、日立国際電気、富士重工業、三菱重工業、三菱電機、三菱プレシジョン、横河電機、横河電子機器、横浜ゴム

〔(一社)日本航空宇宙工業会 業務部長 杉原 康二〕